

## 松くい虫被害対策の方針作成支援を通じてフォレスター活動を展開

### 1 はじめに

遠野市の松くい虫被害の特徴は、地域によって被害程度に大きな偏りが見られることです。こうした地域的な被害の特徴に対応した対策の方針は定められていませんでした。

そこで、遠野農林振興センターでは、「遠野市松くい虫防除戦略」(以下「戦略」という。)の作成を働きかけ、構想の提示や関係機関との合意形成などの支援を通じて、フォレスター活動を展開したので、その内容を報告します。

### 2 活動内容

遠野市に対し、効果的な防除の方針を示す戦略の作成を働きかけ、構想を提示しました。

具体的には、伐倒駆除により松くい虫被害の根絶を図る「被害の先端地域」と、激害松林の健全化により松くい虫被害の低減を図る「被害のまん延している地域」に区分けし、被害対策を選択するものです。



遠野市と構想内容を検討

区域指定や施策の内容について、市と緊密に協議しながら構想案を作成した上で、国有林と

の連携を目指して岩手南部森林管理署遠野支署に協議を行い、民国が一体となって対策に取り組むことに合意しました。



森林管理署と連携内容を検討

また、専門的な指導を仰ぐため、森林総合研究所東北支所の研究員に相談し、助言内容を盛り込みながら、構想案のブラッシュアップと関係者との合意形成を進め、完成した戦略については、令和4年3月に開催した「遠野地区森林病虫害被害対策連絡会議」で周知を図りました。

#### 作成した戦略の主な内容

- ◆ 目的や目標の設定
- ◆ 地域区分別の被害対策の設定
  - ア 被害の先端地域
  - イ 被害のまん延している地域
- ◆ 具体的な取組
- ◆ 防除戦略図

### 3 今後の取組

今後は、この戦略に基づき、国有林との情報共有を図りながら、駆除事業やアカマツ林の樹種転換を進めていくこととしています。